

磐田ファミリーバドミントン協会

加盟団体数 20団体
加盟人数 187人
代表者 会長 村松 直司
創立年 平成19年12月1日

ファミリーバドミントンは、昭和63年京都国体のバドミントン競技会場となった長岡京市で手軽にバドミントンを広く親しめる独自のニュースポーツとして考案されました。

バドミントンはスピードがあるため、広い年齢層では難しく、誰でも手軽にできるものはないか、とアイデアを出し合い、日本の遊びの原点でもある羽根つき遊びとミックスさせるという案が提案され考えられました。ラケットはシャフトを短くしたもので、シャトルはスポンジボールとバドミントン用ナイロンの羽根をつけたものです。打ち込みが禁止のため滞空時間が長く空振りも少なく誰でも手軽にラリーを続けることができるスポーツです。



右 バドミントンのシャトル
左 ファミリーバドミントンのシャトル

ファミリーバドミントンは、子供からお年寄りまで「誰でもが、いつでも、どこでも、自分の好みや能力に合わせて、気軽に楽しめる」のが、特徴です。仲間との交流、家族とのふれあい、健康・体力づくりなど、様々な目的で楽しまれています。

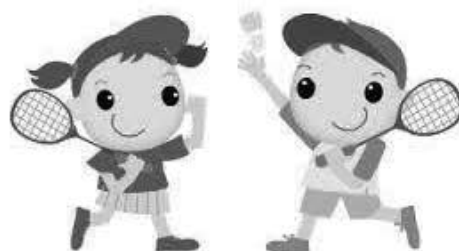
本会は、ファミリーバドミントンの普及及び振興に努め、会員相互の連帯と親睦を図ることを目指しています。

<協会の歩み>

平成19年12月 設立
平成20年 4月 設立総会
平成20年 6月 磐周リーグ開始（3期）
平成20年 8月 第1回協会長杯
平成22年 2月 第1回きさらぎ杯
平成29年 6月 磐周リーグ（3期）
※県下のチームが参加
平成30年 6月 平成30年度磐周リーグ
（6月・9月・3月）
平成30年 6月 第11回協会長杯
平成31年 2月 第10回きさらぎ杯

<その他事業>

審判講習会
協会主催練習会
初心者教室開催



磐周リーグは、県内39チームが5部（各部8チーム）に分かれて、年3回のリーグ戦を戦います。静岡県は、ファミリーバドミントン発祥の京都府を抜いて、全国一盛んな県です。益々、リーグに参加したいチームが増えてきています。



平成30年度前期リーグ(平成30年6月3日) アミューズ豊田

ファミリーバドミントンの良さは、子供からお年寄りまで誰でも楽しめることです。今回から、「会長杯」「ささらぎ杯」では、オープンの部とフレンドリーの部を選択できるようにしました。親子3代で参加したチームがありました。正に、「ファミリーバドミントン」を感じさせてくれました。また、磐田市のレベルの高さを求めて、県外からも多くの人たちが参加してくれました。



第11回磐田ファミリーバドミントン協会会長杯
(平成30年6月24日)アミューズ豊田



第11回磐田ファミリーバドミントン協会会長杯
フレンドリーの部 (平成30年6月24日)アミューズ豊田



第4回ささらぎ杯(平成25年2月24日) 磐田市総合体育館

<役員名簿>(平成30年4月現在)

会 長	村松直司		
副会長	鈴木安弘	鈴木康哲	
総 務	中嶋英明	田尻大樹	
会 計	佐藤幸穂		
監 事	松井亮忠		
理 事	金原元司	小澤 透	高坂弘由
	鈴木 賢	大石貴紀	本間あすか
	武藤好永	山田浩昭	